



横瀬小学校

R7.1.22

2025年、みなさんは今年1年の目標を立てましたか？どんな目標にも努力を積み重ねることが大切です。そして、その土台になるのは元気な心と体です。今年1年、けがや事故、病気に気をつけて過ごしてください。

裏面に12月、5年生で生命の安全教育を行った内容と子どもたちの感想が載っています。

## いきいき調べ 今年度もいきいき調べの表彰を行いました！

【目的】

「いきいき調べ」は清潔な習慣や規則正しい生活を身につけられるようにするためのものです。ハンカチなどは「チェックされるから持つ」のではなく「必要だから持つ」という考えを定着させたいと考えています。

実施曜日：毎週火曜日

※ハンカチやティッシュペーパーはいつも取り出せるようにポケットに入れて、身につけておきましょう。

※ハンカチなどの持ち物や寝る時間などの健康づくりのための生活習慣は、できるだけ自分でできるようにしていきましょう。

寝る時刻のめやす：1・2年生：9:00 3・4年生：9:30 5・6年生：10:00

四国放送からふるさと納税品として、キレイキレイ薬用ハンドソープが届きました！感染症(インフルエンザ・コロナなど)にかからないよう、みんな手洗いをがんばっています。

感染症予防



とくしまけん 徳島県では



手洗い・うがいをする



マスクをする

かぜ 風邪  
インフルエンザ  
流行中！



人混みを避ける



規則正しい生活をする

寒くて空気が乾燥する冬は、風邪やインフルエンザが流行しやすいです。自分でできる対策をしましょう。

咳エチケット

みんなで感染を  
予防しよう！

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する(口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う

こんな時は、人がいないことを確かめて！！



何もせずに咳やくしゃみをする 咳やくしゃみを手でかさえる

とっさに手でかさえたあとは、必ず手あらいや消毒をしよう！

引用：厚生労働省HPより

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症をはじめ、咳やくしゃみの飛沫により感染する感染症は数多くあります。「咳エチケット」は、これらの感染症を他人に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえることです。特に学校など人が集まるところで実践することが重要です。(厚生労働省HPより)

いのち あんぜんきょういく 生命の安全教育

ひと よ かんけい 人と良い関係をつくるためのルールを知ろう

じゅぎょうないよう 授業内容

1 なぜ、このような勉強をするのかについての目的を話す。  
 近年、子どもたちが性暴力などの事件に巻き込まれる事態が多発している。加害者にも被害者にも傍観者にもならないために授業を受けました。



2 フライベートゾーン(ゾーン)は自分だけの大切なところ  
 フライベートゾーンは水着でかくれる部分ですが、口もプライベートゾーン(部分)になります。また、体はどの部分も大切です。自分と同じように他の人の体も大切であることを再認識しました。

3 人とのきより感を知る

○「体のきより感」「心のきより感」とどちらも感じ方は人によってちがっているため、相手には「～していい?」と同意を求めることが必要です。

同意を求められたら返事をしますが、その場合、自分の意思をしっかりと伝える。しかし、はっきりと返事ができない場合もある。こんな時、相手の返事に対して強引に答えを誘導したり、おどしたりしません。

○ 友達が本当はいやだと思っても「いや」と言えない場合、(見ているだけの人にならないために)自分ならなんて声をかけてあげるのかを考えた時、自分が避けたい人を誘って断られたときの気持ちを考えたいしました。

4 SNSの注意点やトラブルに巻き込まれそうになってしまった時の対応方法を学びました。



人とのきより感が守られないときは、「いやだ」と相手に言おう。その場をはなれよう。安心できる大人に相談しよう。

5 実話を基に、自分や他の人の体や心を守るためのルールを考えました。性暴力の被害にあっても「被害者は悪くない」ことを知っておく。

6 自分と相手を大切に、良い関係をつくるためにどうしていくのがいいのかを考えました。



子どもたちの意見や感想

☆人にいやなことを言われたり、されたりした時、「いや」と言えない友達に対してあなたなら何と言ってあげる?

・いやだと言っていることを伝えてあげる ・いやだって言おうよ ・こまっとるよ

☆友達に「今日、遊ぼう」と誘って、断られた時の気持ちや対応

・悲しいけど、いいよと言う ・また遊ぼうと言う ・遊べんのか。仕方ないね

☆人との距離が守られなかったり、SNSでこわい思いをしそうになったときの対応は?

・はなれる ・大人に相談する ・にげる→安心できる大人に話す ・個人情報 は流さない

☆(実話を聞いて)自分と相手を大切に、より良い関係であるために、みなさんはこれからどうしていきたいですか。

・相手の気持ちを考える ・自分が言われたり、されていやなことはやらない ・けんかや暴力はふるわない ・いやなことをしたり言ったりしない ・勝手に人のものをさわらない、人にいやなことしない ・なかよく遊ぶ ・助け合いをする ・相手の気持ちをはじめに思う ・友達の気持ちを大切にする

☆授業を聞いて、わかったことや感想

・SNSをちゃんと使わないと、こわい思いをすることがわかりました ・SNSは使って楽しいものだけど、時には命に関わる危険なものです ・SNSでつながった人が不審者だったのはこわいと思いました ・4ヶ月にわたって性被害を受けていたのは、気持ち悪いと思いました ・SNSは気をつけて使っていきたいと思いました ・だれかと通話できる機械はあまり使わない方がいいと思いました ・もしインターネットを使って不審者にあつたら、すぐにはげる ・プライベートゾーンについてよくわかりました ・インターネットには危険がいっぱいあることがわかりました ・SNSを使う時は気をつけたいです ・相手と自分の距離はちがう ・人の大切なところにはさわらない ・体も心もきより感 は人によってちがうことがわかった ・SNSで知らない人と関わらないようにする ・SNSで知らない人と友達になると、もしかしたら悪い人かもしれないから注意が必要だと思いました。